

インタビュー

国籍の異なる隣人とともに

外国人受け入れ政策の実態と課題

稲葉奈々子・上智大学総合グローバル学部教授

人口減少社会に欠かせぬ労働力として、外国人材の活用が寄せられている。一方で、移民の受け入れを拒む日本の姿勢は、国際社会からも批判されてきた。外国にルーツを持つ人びとの労働とくらしの現場で、今なにが起きているのか。支援の現場に長年携わってこられた研究者にお話を伺った。

● 見えそうで見えない「隣人」の姿

——社会経済状況が大きく変化するなか、日本で働く外国人労働者の層は、どのように変化してきているのでしょうか。

稲葉 一九八〇年代末の日本で、いわゆる外国人労働者といえば、ビザのない超過滞在のイスラム系の男性が主流でした。当時はとても景気が良くて中小企業は常に人手不足、イランやバングラデシュ、パキスタンなどから出稼ぎに来る男性が数

多くいました。九〇年代になると、ラテンアメリカから出稼ぎに来る日系人が急増しましたが、二〇〇八年に起きたリーマンショック後に、その多くが国へ帰りました。いま、外国人労働者で圧倒的に多いのは技能実習生です。

一方の女性は、たとえばフィリピン人の場合、興行ビザで入国しラブなどで働く人が年間七、八万人はいましたが、二〇〇四年にアメリカ政府に批判されてからは、かなり減りました。代わりに日本人

男性との結婚による入国が増えています。フィリピン人は、今では中国、韓国、朝鮮に次いで登録者数の多い外国人で、その約八割は女性です。

また、あまり目立たないのですが、JFC（ジャパニーズ・フィリピン・チルドレン）も増えてきています。JFCの多くは、性産業で働く女性が顧客の男性と恋仲になって生まれたけれど、男性が認知しなかった子どもたちです。二〇〇九年に改正国籍法が施行され、それまで胎児認知が要件とされていた日本国籍の取得が、出生後認知でも認められるようになりました。子どもが日本国籍を取得できれば、養育者である母親も日本で定住、就労することが可能になるため、子どもとともにフィリピンから日本へ戻った母親たちが、介護や性産業などで働いています。その数は潜在的に多く、支援団体はあとまだ数万人ぐらいいるのではないかと言っています。日本国籍を取ることができるので、外国人統計としては現れ

いなほ・なほ

社会学者、東京大学大学院総合文化研究科博士課程中退。NPO「移住者と連帯する全国ネットワーク」理事。女性移住者の「リサーチ&アクション」など、女性移住者や非正規滞在者の権利擁護を中心に活動。「社会を取り戻す人々」フランスにおける都市底辺層の反グローバル運動（「社会学評論」一五八号）、「サンパビエ」の運動と反植民地主義説「作動しなかったポストコロニアリズム」（竹沢尚一郎編著『移民のヨーロッパ』国際比較の視点から、明石書店）など著書、論文多数。



ません。

——製造業のあるような外国人集住都市でなくても、外国にルーツを持つ市民の数は増えていますね。

稲葉 地方都市へとかなり広がっていると思います。とくに女性は婚姻によって、今ではどんな小さな町村にも必ずいると

言われています。定住化が進んだことで、外国人女性の問題の所在はだいぶ変わってきていると感じます。

東日本大震災の直後に東北に入った支援団体が、避難所にたくさん外国人が来ていたことにとっても驚いていました。東北に技能実習生が一定数いることは分かっていたのですが、これほどまでに多くの女性が、地域とのつながりもないうまま結婚、定住しているとは思わなかったそうです。

● 外国人受け入れ政策の実態

——制度と現実との乖離は深刻

——安倍政権は、留学生などの優秀な高度外国人材の活用とあわせて、技能実習制度の見直しによる実習期間の延長や人数枠の増加、職種拡大に向けた政策を進めています。どう分析、評価しておられますか。

稲葉 日本政府のスタンスは、あくまで「外国人材の活用」。必要なくなれば帰っ

てもらえる人たちです。絶対に「移民受け入れ」という言い方はしません。労働者として日本で働いていても、人として受け入れはしない。まったく現実と合わない政策だと思います。

政府が、今の政策のまま、これからも外国人が喜んで日本に来るだろうと考えているとしたら、見通しが甘いと思います。日本人と外国人との労働条件には、差がないことになってはいます。ただ実際に、介護現場で働く外国人は毎日夜勤とか、日本人と比べて条件の悪いところで働かされている人が多い。賃金も条件も日本人と均等でなければ、仕事としての魅力は下がります。

私は、外国人技能実習制度はもう止めて、労働者として受け入れているのだという現実をはっきりと認めるしかないだろうと思っています。仮にそれで外国人がどんどん入ってきて困るというならば、雇う側をしつかりと規制すればいい。しかし現状は雇用主に対する規制はとても